

議会だより みなかみ



12月定例議会 2P

一般質問 7名の議員から 6P

新企画「この町あるある」13P

特集「中学生議会」16P

町民広場・ふるさとクイズ 20P

群馬県利根郡みなかみ町

平成28年(2016年)

1月15日発行

43号

写真：ほた(13ページ参照)

くりを補正予算から見る

第4回議会定例会は、12月1日から10日まで開かれました。条例の整備、指定管理者の指定や補正予算など23案件を全て可決しました。

みなかみが好き

ふるさと納税は、「納税」という言葉がついていますが、法律上は寄附金として取り扱われます。そのため、寄附した額は税金より控除の対象となります。

みなかみ町では、お礼の品が選べます。



みなかみ町「ふるさと納税」パンフレット

ふるさと納税推進事業 ※ 1
1524万円

みなかみを知ろう

本紙16〜17頁で掲載の中学生議会で提案された「みなかみを知ろうプロジェクト」が早速、予算化されました。

町内の中学生が合同で交流を図りながら、「みなかみ」を知るための学習に使われます。



中学生議会での質問の様子

観光情報宣伝事業 ※ 2
100万円

地域連携とあわせて安心・安全な生活を

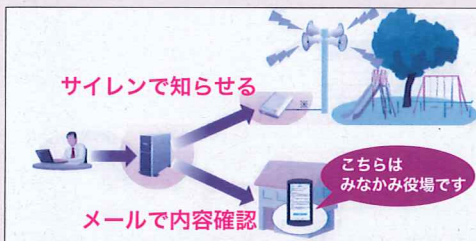
水上地区の消防団詰所に遠隔操作を行える「サイレンシステム」が導入されます。

これにより第1報の知らせが地区の方に行き届きます。

このほか、携帯への通報システムや防災計画等を利用した地域連携で、安心・安全な暮らしをサポートします。

緊急情報伝達システム
整備事業 ※ 3
2034万円

サイレンシステム



緊急時は消防団詰所サイレンで一報するシステム。内容は緊急一斉メールで確認できる。

イメージ図

平成27年度終盤のまちづ

ふるさと納税や住宅新築改修等補助金など町民に密接に関わる補助内容が増えたが、国庫補助に減額が生じるなどで、一般会計の補正額は385万円となった。

一般会計総額 / 143億8666万円

補正額 / 385万円

歳入

国庫支出金（道路橋梁費補助）※4	-3163万円
県支出金（中山間地域直接支払事業補助金）	500万円
寄付金（一般、ふるさと納税）ほか	2790万円

歳出

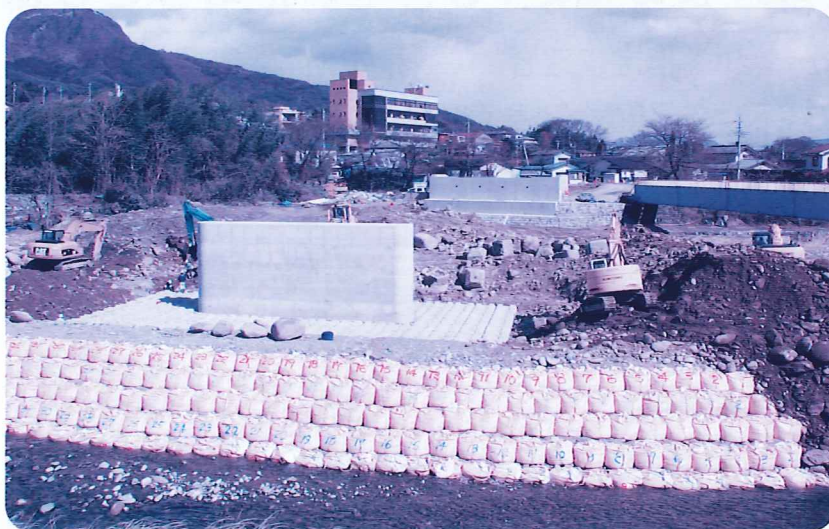
ふるさと納税推進事業 ※1	1524万円
みなかみ・水・「環境力」基金管理事業	2000万円
小規模農業生産基盤保全整備事業	1900万円
住宅新築改修等補助金	1000万円
観光情報宣伝事業（みなかみを知るうプロジェクト）※2	100万円
歴史を活かしたまちづくり事業	140万円
緊急情報伝達システム整備事業 ※3	2034万円
交付税事業ほか	-1億1539万円

道路橋梁費補助減額 ※4

-3163万円

当初事業費見込まれず

国からの予算の割り当てを要求する自治体が多く、町が予算要求した事業費が認められなかった。
結果、国からの交付金が低い割り当てになり、減額となりました。



建設中の徒渉橋（ただわたりばし）

討論・条例の整備

マイナンバーで利便性の向上を 賛成多数可決 15・2

マイナンバーを含む特定個人情報、町が実施する個人番号利用事務で、情報連携を可能とすることで、スムーズな行政手続ができるようにする条例の制定。

質 具体的には教育委員会だけか。既にマイナンバーをこちらから実施機関に提供しているのか。

答 町長部局並びに教育委員会。提供はしていない。

反対討論 林 誠行 議員

頼んでもいない番号を送りつけ、自分で管理させるマイナンバーは町民、国民にとって利便性はない。一つの番号で情報収集ができるので、行政には便利な制度。国民の利便性から出発した制度でないので、メリット感はない。

農業委員会制度の変革 賛成多数可決 15・2

農業委員会等に関する法律の改正に伴い、町農業委員会の委員の定数を定めるものと、町農地利用最適化推進委員の定数、並びに報酬を定める条例の整備。

質 農業委員と農地利用最適化推進委員の関係は。

答 同等の立場と言われているので、連携して業務に当たっていただくと考えている。

反対討論 原澤良輝 議員

攻めのアベノミクスで攻め落とされるのは、地域の日本の農家である。農家・農業を守る農業委員を削減することには反対だ。農業委員の重大な役割がなくなる。

※1 農地利用最適化推進委員
区域ごとに委嘱され、地域における農地確保と利用調整のための現場活動（担い手への農地集積や遊休農地対応など、農地利用の効率化・高度化等）に取り組んでいただく方々。

今議会の「指定管理者の指定」9件を、お知らせします

町有管理施設（略称）	指定管理者	指定期間	管理料/年 <small>12月1日現在</small>
太助の郷	太助の郷農産物等生産者の会	4年	150万円
月夜野は一べすと	(株)月夜野は一べすと	4年	348万円
桃李館	(一財)みなかみ農村公園公社	4年	320万円
月夜野農村環境改善センター	みなかみ町商工会	4年	224万円
第1号みなかみ町駐車場	大穴区	4年	34万円
永井宿郷土館	永井区	3年	50万円
湯桧曾公園	ゆびそ塾	3年	40万円
湯桧曾地区足湯	ゆびそ塾	3年	13.6万円
月夜野学童クラブ	月夜野わんぱくクラブ運営委員会	5年	713.7万円

みなさんからの請願・議決結果

請願事項	提出者	所管委員会	本会議審査結果
請願第7号 「安全保障関連法案の制定に関する意見書」の提出を求める請願書（9月継続審査）	みなかみ町月夜野勤労者協議会 会長 佐藤 健一郎 みなかみ町新治勤労者協議会 会長 高橋 扶吉 みなかみ町阿能川 875 阿部 圭助	総務文教 常任委員会	賛成少数 不採択
請願第8号 藤原地区にサッカー場整備に関する請願書	みなかみ町藤原上区長 中島 保雄 みなかみ町藤原中区長 雲越 栄一 みなかみ町藤原下区長 浜名 徳恵	産業観光 常任委員会	全会一致 趣旨採択

委員会審査

「安全保障関連法案の制定に関する意見書」を求める請願書（9月継続審査）について（請願第7号）

衆議院では7月に、参議院では9月に可決されている。前回は国会で審議中で、継続審議となったが、国会では既に可決されているので、不採択でよい。
（委員会 全会一致不採択）

本会議賛成討論

林 誠行 議員

戦後70年間、戦争する国にならなかったのは、憲法の平和原則を国民が守り抜いてきたからだ。平和憲法を擁護し、町民の命と安全を守るのが町議員の務め。子や孫を戦争の傘下に巻き込むことのないよう請願に賛成する。

（本会議 賛成少数不採択3・14）

藤原地区にサッカー場整備に関する請願書について（請願第8号）

サッカーで町を活性化することでは、サッカータウン構想と考え方を一つにするとと思う。前回、猿ヶ京地区から出された案件も趣旨採択になっている。総合的な判断で趣旨採択でいい。

（委員会 全会一致趣旨採択）

町過疎地域自立促進計画案に、一部修正を加える（議案71号）

町は平成22年に過疎地域に指定され、過疎対策事業債等の財政上の特別措置を受けています。5年計画の、町過疎地域自立促進計画が期間終了するため、引き続き特別措置を受けられるように、新たに平成28年度からの5年計画を議決しました。
（委員会 全会一致可決）

本会議では、委員会追加計画案が修正案として計画案に追加され、修正案並びに原案を共に全会一致で可決しました。

個人番号制度開始に伴う所要の改正（議案79号）

申請書等に個人番号を付することになる。

（委員会 全会一致可決）

本会議反対討論

原澤良輝 議員

町民に利便性がなく、個人のプライバシーを侵害するマイナンバー制度に反対。町民税や固定資産税など減免申請をしないと納税できない弱い立場の町民に、個人番号を記入しないと減免が受けられなくなる改悪だ。個人番号を強要する町税条例の改正に反対。

（本会議 賛成多数可決15・2）



石坂 武 議員

人数減・予算増、役場職員の勤務状況は適切か

町長 適正な業務配分、人員配置を進めていく

問 町村合併から10年が経過し、職員の大削減の現状、勤務状況について伺う。

答 町長 職員は、現在それぞれ13課38グループの組織に配属されているが、適正な業務配分、人員配置を順次進めていく必要があると考えている。

問 時間外手当の上限は、月あたり20時間というところで良いか伺う。

職員の健康を確保し、安心して働く事ができる職場環境を実現するため、時間外勤務の縮減・年次有給休暇の取得推進やメンタルヘルスの対策等、積極的に取り組んでいく必要があると考えている。

答 町長 20時間と言う目標で管理しているという事は事実です。

問 女子職員が週20時間以上、月に80時間以上勤務すると言う、それも短期間でなく継続的にと言う現状をどう捉えるか伺う。

答 町長 指摘の内容については事実であり、業務の外注化や人員配置の再編は考えなければならぬ問題である。きっちり整理し、対応するように努めたい。

問 安全衛生法において、ストレスチェック制度の創設、12月1日より施行となっているが、町としてどう考えるか伺う。

安全衛生法において、ストレスチェック制度の創設、12月1日より施行となっているが、町としてどう考えるか伺う。

答 総務課長 今年度については、12月中旬までは、1月に、業務委託を既に進めているので、実施すべきと考えている。

個人情報の注意深い管理を

問 個人情報漏えい問題についてのどのような体制で対応しているか、また、マイナンバー通知カードの送付状況と返戻率は。

答 町長 業務上知り得た個人情報を慎重に取り扱うことは、公務員の基本事項であり、情報漏えい対策は、職員研修や課長会議の席等、常に周知を図っている。

町民福祉課長

通知カードの返戻率は、11月30日現在で、送付総数8188件、

返戻数440件。返戻率5.4パーセントです。

問 マイナンバーの申請手続きに伴う経費について伺う。

答 町民福祉課長 1月より希望者の申請により発行する、マイナンバーカードについては、初回は無料です。但し、再発行等の場合は経費が必要になります。



マイナンバーカード



林 一彦 議員

名峰谷川岳の環境保全整備で地域振興を

町長 県と森林管理署と協議し、早い整備を進めたい

問

町の象徴「谷川岳」山岳トイレ対策の経緯と状況は。

答

町長

天神尾根コースの熊穴沢避難小屋付近に、トイレの設置を優先する。県と森林管理署とで環境に負荷をかけない設置場所・構造を検討中。早い整備を進めたい。

問

「山岳環境保全を考える」講演会講師の森山氏は、土壌式循環トイレが最近の山岳トイレの主流で、水も電気もない場所

で、化石燃料を使わず、くみ取り料は軽減、ふん尿を浄化し、便器の洗浄水として繰り返し使うトイレシステムが適しているとしたが。

答

町長

森山さんの提案も、一つの候補として整理する必要がある。



熊穴沢避難小屋

問

現在、新治地区で、こども安心安全・育成協議会が組織され、児童生徒の安全確保のための活動が行われている。

「こども安心安全パトロールをもっと町全体で」を求める

もっと積極的に町全体で取り組んでいく必要があると思うが。

答

教育長

新治地区の取り組みを、町の児童生徒を地域で見守る活動のモデルとして、その他の小・中学校区でも同様の取り組みを展開するよう進めている。

問

町の通学路安全推進会議で、通学路の安全確保に関する取り組み方針の発表があった。

また、6月1日より道路交通法改正が施行され、自転車による交通違反がより厳しくなった。歩道整備や防護柵設置、交通規制や交通安全教育等の対策は。

答

教育長

10月20・26日に、各関係機関と交通安全プログラム合同点検を行った。

今後、すぐ整備できるところから順次対応していく。

「外国人向けアドバイザーや、情報伝達の充実で観光振興を」

問

観光振興として、海外からの観光客誘致を推進し、台湾からの観光客急増で、昨年度は3600人です。

多くの観光客に何度も来町して頂くために、観光アドバイザー制度等、誰でも簡単に町政に意見ができるシステム構築をどう考えているのか。

答

町長

観光振興として、7月に観光会議を立ち上げ、課題の洗い出しをしている。その中で、数々の指摘についても検討している。



原澤 良輝 議員

活かせ「町総合戦略」

町長 組織間の連携が大切だ

問 町が10月に公表した「町総合戦略」は、東京集中による地方疲弊から脱却する5年計画。人口ビジョンは、2060年に人口を1万2千人にする目標。人口推計の目的は。

答 町長 ピーク時に3万5千人が、50年後には7149人。100年後には1638人と、現在の減少傾向から推計。不都合な部分も明らかにした。25年後までにどういう政策をするかが大事。

答 町長 全ての課をなくすのではなく、それぞれの分野の行政は必要。横の連携がますます重要という認識で検討中。

問 観光は地域の総合産業。「町内の観光関連組織が大きな力になっていない。観光協会、行政の関わり方にも課題」と指摘。町長の考えは。

答 町長 観光は地域の総合産業。観光協会の役割は大きい。観光協会の役割を強化し、行政の関わり方についても課題を指摘。町長の考えは。

問 子育て・人の移動も総合戦略の目標に。新幹線通勤費助成は企業にとっても社宅や住宅費補助より有利、というPRをすることについて町長の考えは。

答 町長 子育て・人の移動も総合戦略の目標に。新幹線通勤費助成は企業にとっても社宅や住宅費補助より有利、というPRをすることについて町長の考えは。

問 町長 不都合な事実も載せた。観光会議で議論している結果に期待したい。

答 町長 温泉街の、やめた旅館を取壊すのも投資。それも仕事になる。という提案に対し町長はどう考えるか。

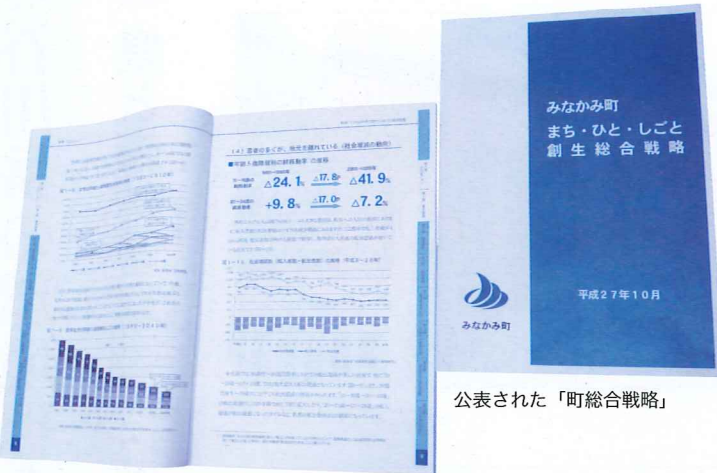
問 CCRC計画は高齢者を狙うブラック企業が関わる噂もあり、行政の関与について町長の考えを。

答 町長 CCRC計画は高齢者を狙うブラック企業が関わる噂もあり、行政の関与について町長の考えを。

問 介護医療者が、地域包括ケアを検討し町へ提案予定。以前会った業者は相当強引で、ブラック企業と言われていると承知。どれだけ町に興味があるかは不明。

答 町長 介護医療者が、地域包括ケアを検討し町へ提案予定。以前会った業者は相当強引で、ブラック企業と言われていると承知。どれだけ町に興味があるかは不明。

問 諦めでなく、頑張る希望の数字が大事。町の縦割り組織を廃止し、地産地消で資源を循環し、地域を運営する組織に変換する「町政戦略室」を提案しているが、町長の考えは。



公表された「町総合戦略」

※1 CCRC：高齢者が自立して生活できるうちに入居して、社会活動に参加し、介護が必要になった場合も医療を受けながら暮らし続ける仕組み。



林 誠行 議員

検討委員会設置で高齢者や交通弱者対策の改善を

町長 高齢者の足の確保は、考えて行かなければならない問題

問

県は、市町村をまたいだバスネットワークの構築の調査を行うが町は対象外。県の対応と併せ、町は高齢者等の交通弱者への対応は。

答

町長 この調査は、交通量等を求める調査。山間部は人の流れが予想できる。

問

自治体の役割を定める交通政策基本法が施行されている。住民の足をどう保障するか、先進地に学び、交通難民の解消を図るべきでは。

答

町長 法では諸条件に応じた施策を実施すると定めている。

町内循環バス、乗合タクシーなど、手段としてはあるが居住の状況を考えると難しい。これからの高齢者の足をどう確保するか、考えて行かなければならない。

問

若い人もいずれは支援に頼らざるを得なくなる。検討が必要になると思うが。

答

町長 広域の公共交通のあり方等の委員会を、今すぐ動かすのは難しい状況だ。

「笠原地区に「キンメイチク」が確認できれば保護・保存を」

問

たくみの里地内に国の天然記念物のキンメイチクがある。保存・保護で観光スポットにしては。

答

教育長 専門家による調査を行い、確認されたら所有者の方の考えも踏まえて検討したい。



渋川市敷島地区にある【キンメイチク】

※1 キンメイチクは、その名の通り金色の幹が見られるという特色があつて、一般的には見かけない貴重品種で、観賞用として知られる。全国で三方所、石川県の加賀市、福岡県の朝倉郡、県内では渋川市の敷島キンメイチクが天然記念物として指定されている。



高橋久美子 議員

認知症の早期発見、見守りの対策は

町長

先進地の事例を研究しながら、早期に検討をしたい

問

藤岡市も導入している認知症の早期発見につながる「認知症チェッカー」を、町のホームページに掲載することへの見解は。

答

町長 藤岡市の状況を調査し、専門病院の意見を伺う中で、検討をしていきたい。

問

認知症の早期診断対応につなげる為の、初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員の配置の状況は。

答

町民福祉課長 具体的には、動いていない。医療と介護の連携、行政も入り広域内での形など、検討を進めているところ。

問

高崎市は、GPS機能を利した徘徊高齢者救援システムの運用を導入。別の自治体は、警備会社のGPS端末の有料貸出の初期費用5000円を助成しているが、町の取り組みは。

答

町長 他の自治体を見ると、効果や利用者が低調。もつと他の有効的な方法を検討する時期かと思う。

問

高齢者が使う、靴のかかと、ステッキやバックなどに貼る専用ステッカーを配布している自治体もあるが。

答

町長 現在26都道府県で導入。簡単な効果的かと思う。事例を研究し、ケアの会議等で関係者の意見も伺うなかで、検討したい。

問

認知症高齢者のケア方法で「ユマニチュード」の推進の見解は。

答

町長 なるべく広げて行きたいと思う。

町民福祉課長

認知症サポーターの養成講座の中でも、理解を深めている状況。



ひとり歩き(徘徊)高齢者早期発見ステッカー

※1・ユマニチュード
フランス発症の認知症ケアの方法。基本は「見つめる」「触れる」「話しかける」「立つように支援する」の4つ。特別な技術や高額な治療も必要ないのに、驚くほどの効果が得られるという。

問

健康診断受診の啓発や、受けやすい体制づくりへの課題は

問

早期発見、切れ目のない健診体制の観点から、19歳からの若年者健診は。

答

町長 どういう方法があるのか、全体のコストとマンパワーを含めた可能性で、勉強させて頂きたい。

問

町の健診に歯周病の検診を入れることは。

答

町長 15歳以上から、急に歯周病等の疾患が増えてくるとのことなので、まず中学生の健診で手を付けていきたい。



中島 信義 議員

行政区の再編は

町長

早急な再編は時期尚早

問

町村合併後、行政区の再編計画が示されて10年が経過している。これまでの経緯と現状を伺いたい。

答

町長 行財政改革調査会において、59の行政区を22の行政区に再編すべき、との提言があった。町としては、区長会に委ねる方法以外はない。

問

今後、町としてどう対応していくのか。

答

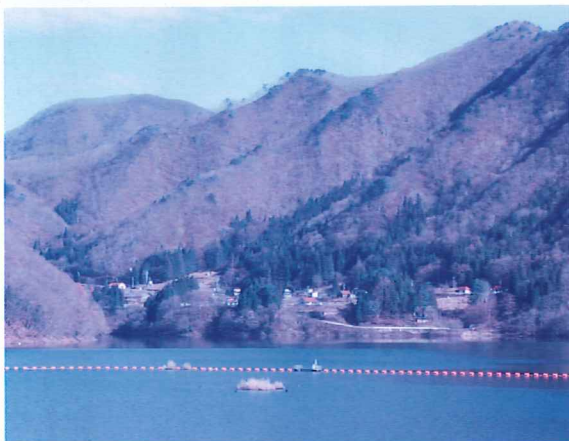
町長 早急な再編統合は時期尚早であり、区長役員会では原則、今後議題として取りあげない。しかし地域から話があった場合は、協議を支援していく。

問

小規模区は少子高齢化が深刻な実情であり住民の声を聞き、町として対応すべきだと考えるが。

答

町長 個別の相談で支援して行かなければならない。また、解決しなければならぬと思っている。



湖畔の小集落

公共施設の統廃合は

問

平成19年に議会特別委員会より、町施設の統廃合について報告書が提出されている。その後、現在までの状況についてお聞きしたい。

答

町長 報告書を受け、平成20年12月にその検討結果の報告が行われた。教育施設等は進んでいるが、他は計画通りには進んでいない。

問

国や県へ町の実情を説明し、施設の利用変更、また廃止も含め、理解を求める必要があるのではないかと思う。今後、町の将来を考え、スリム化も議論の一つと思うが。

答

町長 理解が得られれば、民間への売却も進める。他用途に使うのが適切であれば、有効利用を積極的に検討し、問題点を整理すべきと理解している。



来年4月に統合予定の北幼稚園



前田 善成 議員

福祉事業所への独自の取組みは

町長 重要性は理解している

問 福祉事業は地方創生策に取り入れられ、多くの事業所がありますが、その雇用関係と賃金の現状は。

答 町長 賃金は全産業より10万円程度低く、離職率も高い現状は理解している。CCRなどを進め、福祉事業の先進地になりたい。

問 介護施設経費は人件費で、保険は介護人数や報酬の条件で報酬上限が決められる。そこで付加価値を付けるため、混合介護を指導し条例化する考えは。

答 町長 手間がかかることは分かるが、介護医療事業の方と相談や提案していきたい。

問 要支援者の介護制度が変わり、サービスへの不安が住民・事業者にもあるが。

答 町長 介護が受けられる体制は必要。検討し総合的に考えていきたい。

問 介護施設の入浴介護料金は1回500円なので、入浴券を介護施設でも使えるようになる考えは。

答 町長 この段階では判断できない。人材確保など総合的に検討したい。

問 要支援者の介護は、介護報酬で成り立つのが現状。介護のイメージ向上や観光PRのため、家族旅行の宿泊客にも介護施設を利用させる考えは。

答 町長 今の切口は非常に展開の仕方がある。

答 町長 非常に難しいので十分検討が必要。

問 職員は、やりがいがあるても賃金や労働条件でやめていく。そこで税金控除や補助を行う考えは。

問 どの施設でも介護職員は不足している。単に人手でなく、人材として育てるための修学資金制度の考えは。

答 町長 違う形で総合的に考えたい。

※1 CCR...高齢者が自立して生活できるうちに入居して、社会活動に参加し、介護が必要になった場合も医療を受けながら暮らし続ける仕組み。



介護施設の室内



いろいろある。何もないことない。 新設企画「この町あるある」

この企画は、町の素晴らしさを町民の皆さんと一緒に大切にしていきたいと思い、新設しました。この町の凄い人や名物、資源、伝統、等々を紹介します。コーナーでは皆様からの情報もお待ちしております。町のお宝をご存じの方は是非ご一報ください。

「師弟で勝ち得た!! 日本一の栄冠!」

一般財団法人 国際美容協会主催 第65回芸術祭全国大会

「アーティスティックデザインスタイルの部」
大賞受賞
徳山美和子さん(後関)



後関の徳山美和子さんが、10月27日に前述大会の部で栄えある最優秀賞厚生労働大臣賞に輝かれ、力が隠されているとか。

師匠である江口美也子さん(髪工房花子)は、「18年務めて貰っているが、愚痴を聞いた事がない。本当に頑張り屋さん。」



孔雀をイメージした受賞作品

3年前に美容師の資格を得てからは、腕をメキメキとあげてきた。斬新なスタイルを提案できる子です。」と話す。弟子の才能を見抜いて、今回の大会もアドバイス。徳山さんは「こんな田舎でも、勉強すれば日本一になれる!おばさんでも出来る!証になれた。何かを目指している人を、勇気づけ、力になれば」と語ってくれました。

古くから藤原地区にのこされた「伝統食」

「ぼ・た・は、四合」

うるち米を炊き半分つぶして握り、昔ながらの「ほうろく鍋(浅い鍋)」で先ず焼きます。その後竹串に刺して特別な味噌をぬり炭火で再度焼きます。味噌には地味噌と軽くつぶした胡桃を混ぜています。

言い伝えでは、雑炊一合、おかゆ二合、おこわ三合、ぼた四合をたいらげる。それほど美味しい食べものと言われています。



収穫祭でのぼた作り風景

現状分析で地域にあった福祉の支援

先進地視察 ●厚生常任委員会 11月17・18日

予防政策で医療・介護給付費削減

高齢者の支援は、まごころ宅急便

【新潟県上越市】

【岩手県西和賀町 社会福祉協議会】

上越市では、「データヘルス」や「組織が縦割りを排除して連携し役割分担を意識する」ことで、生活習慣病の予防や医療・介護給付費が改善されることを調査。今後は、働き世代の予防として協会健保や地域医師会との連携が必要とのこと。

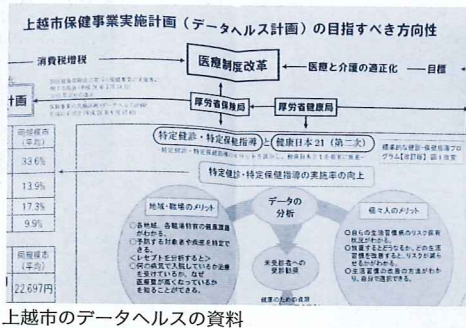
西和賀町では、高齢者の見守りを兼ねた、買い物支援の取り組みを調査。

登録している高齢者から社会福祉協議会が、商品の注文を電話で受け地元スーパーで選別し、スーパーから宅配業者が高齢者宅まで配送し、安否情報を連絡。社会福祉協議会は地域の状況にあった支援をすることを重要視していた。

※1データヘルス
特定健康診査（特定健診）や、診療報酬明細書（レセプト）などから得られるデータの分析に基づいて実施する、効率のよい保険事業のこと。



西和賀町社会福祉協議会での研修風景



親しまれる議会広報誌のために

【山形県川西町】

●議会だより編集委員会 10月13日

広報編集の特徴として、広報コーディネーターや広報アドバイザーなど、編集委員以外の方が参加。また町民参加のコーナーを多く設けるなど、町民と一緒に作る広報に取り組んでいる。

今回の研修でアドバイスをいただいたことを参考にし、町民の皆様にも多く読んでいただける広報誌を目指して行きたい。



川西町での議会広報研修風景

宮城県石巻市訪問

10月14日

（町から職員派遣）

甚大な被害に遭いながらも復興しつつある様子を目の当たりにし、東北の方々の強さや、人々のつながりを強く感じました。

心より、一日も早い完全な復興をお祈りいたします。

「願いを込めて」

「来春、念願の規制解除「諏訪峡遊歩道」」

●産業観光常任委員会視察 12月4日

平成18年に通行規制され、安全確保に向けて改修工事をしていた諏訪峡遊歩道が完成し、現地調査を行いました。

規制解除を待ち望んでいた多くの関係者の願いが一步進みました。今後の更なる誘客へと繋がることを期待します。



諏訪峡遊歩道 工事箇所別工費

- 諏訪峡遊歩道管理道路新設工事 A~B (平成27年7月完成) 工事費 1085万円
- 笹笛橋整備工事 B~C (平成21年5月開通) 工事費 7938万円
- 遊歩道整備工事 D~E (平成19年開通) 工事費 7065万円
- 遊歩道迂回工事 D~E (平成24年6月開通) 工事費 1911万円
- 見晴~銚子橋間既存遊歩道修繕 F~G (平成27年10月完成) 工事費 616万円

総工費 1億8615万円
(平成18年~平成27年12月)

「目標は、遊休農地の解消と雇用創出」

「ワイナリー事業展開の可能性について調査」

●地域活性化対策特別委員会視察

長野県上田市 12月15日

観光地としてのブランドの向上と産業創出のために、上田市にある農業生産法人ラ・ヴィーニユの先進地視察に伺いました。

そこは、浅間山や日本アルプスの雄大な景観と長野の広大なワイン専用のブドウ畑が広がっていました。現地ではワイン専用ブドウの生産の様子や雇用体制のお話とともに、町でのブドウ生産やワイナリーの可能性について意見交換させて頂きました。

そして、メーカーと地元の方々の連携の話が興味深く、企業よりも地元の人々がワインの生産地として、この地域を盛り上げようとして、メーカーと協力している様子に感心しました。地域の経済対策にしようとしている心意気を強く感じる視察でした。



ワイナリー視察

町内の4つの中学校より18名の
中学生議員が模擬議会を体験

11月10日 第2回
中学生議会

ICT機器使った授業は分かりやすい



町内4つの中学校の議員たち

子育て・教育 藤原中学校 中島良太・蛭谷一裕・雲越香恋

問 タブレット複数台導入の整備を。

答 現在実施しているI T機器を入れ替えた後に、先進事例も参考にしながら検討していきたい。

問 こどもの数を増やすための具体的な取り組みは。

答 一例では、移住者呼び込んで住環境を整備し定住につなげていくための事業を実施している。

質問におりませた町政への提言が多く、具体案が盛り込まれるなど立派な内容でした。

いきいき提言 2015

高齢者が安心して暮らし、充実した生活を送れる町に

福祉 新治中学校 本間匠・林康貴・渡部瑠・井浦寧々・塩谷寧々

問 かかりつけ医を持てる医療環境を整えれば安心して暮らせる。ポスター、回覧板、広報特設頁で呼びかけを。

答 広報の手段や町内の医療機関との連携をとりながら啓発活動を進めていきたい。

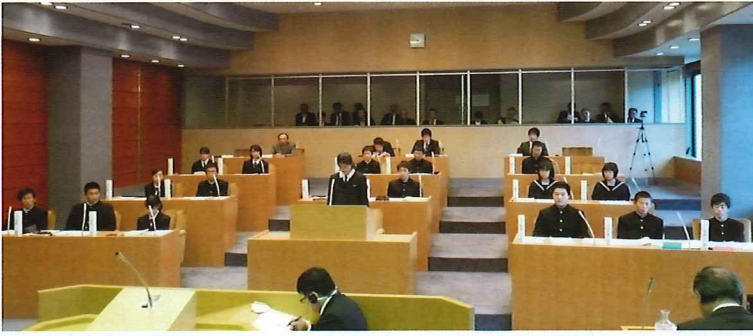
問 生きがいを感じれば充実した生活が送れる。

高齢者が教える料理教室や上毛カルタ大会の練習参加で、若い世代との交流の場を。自然を活かしたウォーキングや、高齢者向け簡単なcoming体操、生涯スポーツの企画で高

高齢者向けスポーツの推進を。文化協会加盟団体の活動を広報みなかみで紹介を。

答 非常に有意義な提案と思う。可能性について十分検討をさせていただき、更には皆さんの声を聞き町内のスポーツ体制、並びにスポーツ環境の向上に努めていきたい。





観光 水上中学校

阿部大和・谷ヶ崎吏久・松本幹也・藤本新奈・宮本董

観光 月夜野中学校

中村研介・原澤理周・本多朱音・小林莉子・吉本光輝

宿泊者を増やして町に活気を

みなかみを知ろうプロジェクト

問

外国語表記案内板や特典付き宿泊パッケージプランの作成を。

答

思う。

なるべく多くの言語で看板を掲示していきたいと思

ンターの作成を。
インターネット情報や様々な方法で積極的なアピールを。
観光施設で働く人や観光客へのインタビュを広報へ掲載を。

パッケージプランなどは経営の努力によってどんどん進めていって欲しいと思っている。

PRは広くしている、今後も継続してPRをし、有益なものがあれば積極的に取り入れたい。アンケート的なものは検討させていただくが、まずは、おもてなしの心だろうと思っている。

問

町内小中学生が一緒にみなかみを知り、交流できる機会、場所をつくる。

谷川岳合同登山・合同遠足の開催を、町民優遇策(激安ツアー)を、インターネット情報の充実を。

答

非常に大事なことだと思う。いつも考え悩んでいることをきちんと言っていただ

いた。将来の町は自分たちが支えるという強い気持ちも感じた。皆さん方の力が町にとっても極めて重要であることを意識し今後ともよろしくお願いしたい。気づいたことをこれからの町の活性化に向けた取り組みの参考にしていけたら思っている。

生徒たちの感想

● 未来の町の姿を考えることができた。提案が実現したら誇りに思う。役立ちた良い。

● 大人に近づいていくことを実感した。町を支えられる人間になり、活性化させて行きたい。

● この議会や貴重な体験に感謝。資料を読むだけと違い具体的に理解ができ、生活や考え方を見つめ直せた。中学生活に役立てたい。緊張したが、良い体験となった。

● 授業の地方自治体を身近に感じ、深められた。地方自治体を勉強して、将来の町のために何かできれば良いと思った。大人になっても暮らしたい。

● 他校の視点から、町のことがよく分かった。良いところも、課題もあると感じた。事前学習や体験で成長することができた。これからは、私たちが町について考えて行かなければならない。

傍聴記

熱心に事前学習をした上で具体的な質問や提案があり、大変立派な中学生議会でした。少子高齢化や議会離れなどで自治体を支える後継者が不足している昨今、このような教育と実地を併せた体験は、子どもたちや我々にとっても、大変重要な試みと認識しております。

今後とも町のために、町民総意のまづくりに切磋琢磨して行きたい。

利根商パソコン部より

アドバイス

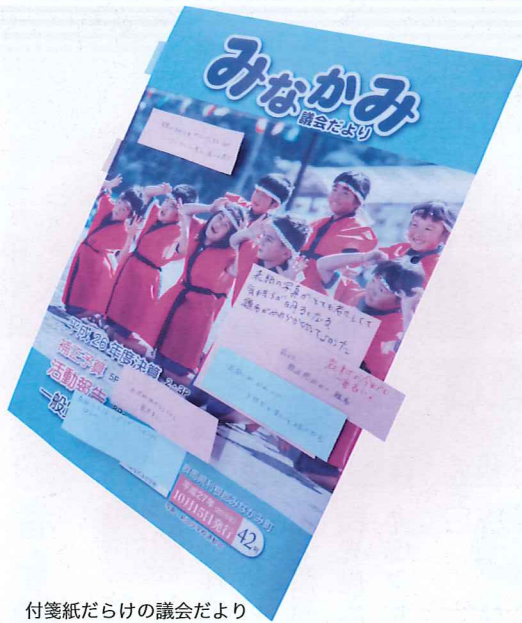
前回42号について主に次のようなご指摘を頂きました。
褒められる箇所も出てくるようにもなり、今後益々精進してより見やすい議会だよりを目指します。

○ごちゃごちゃして見える頁がある。

○文字が小さくて見にくい頁がある。

○一文が長い。

○難しい単語にふりがなを振って欲しい。



付箋紙だらけの議会だより

交流自治体議会はじめ、遠方より調査にみえました

議会発展のために熱心な視察をして頂きました。

- 沖縄県中部6町村議長会 11月12日
「観光振興」について
- 徳島県北島町 11月25日
「議会活性化」について
- 中野区議会視察 12月15日
「なかの里・まち連携事業」について



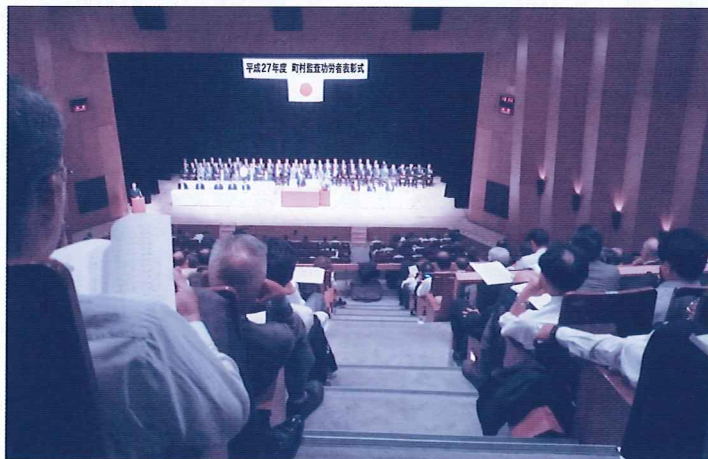
徳島県北島町からの視察



植林地を視察する中野区議

研修の成果を監査に活かす 町村監査委員研修会

監査委員研修では、効率的監査の執行方法や責任・役割などの実務に活かせる研修をしてきました。



町村監査委員研修会

10月7・8日

「名胡桃城址」で2度びっくりぽん!

保存整備工事完了で史跡公園となった名胡桃城址、戦国の世を統一に導いた名胡桃城、実は「真田丸」の父とも関係が…

2016年NHK大河ドラマ「真田丸」で主人公の真田信繁(幸村)は、「真田丸の戦い」で、敵(徳川・江戸幕府軍)の兵を策によって見事引き込んだ。信繁は、以前の戦で父・真田昌幸が指揮した上田合戦(第二次)での戦術で経験していた。

父・昌幸は武田勝頼の命を受け利根川に進攻し名胡桃館を攻略して、1579年、隣に名胡桃城を築いた人物です。

…びっくりぽん

その後、名胡桃城(真田)は、領土争いで秀吉の裁定を不服とした沼田城代(北条氏方)により攻略される。

しかし、不法攻略を許さなかった秀吉は、小田原(北条氏)を征伐し、天下統一に成功した。

なんと名胡桃城は、戦国の世を終わらせるきっかけとなった歴史を刻む城なのです。

…びっくりぽん



保存整備した名胡桃城址

※1…真田丸とは、大坂冬の陣で豊臣方の真田信繁(幸村)が大阪城の平野口に構築した曲輪(くるわ)のこと。

曲輪(くるわ)とは、城の内外を土塁、石垣、堀などで区画した区域の名称である。郭(くるわ)とも書く。

訂正とお詫び

議会だより42号を次のように訂正し、お詫び申し上げます。

ご迷惑をお掛けしました。

・4頁 最下段

「下新田」は「上羽場」に

・15頁 3段左から5行目

「利根沼田医師会」は

「沼田利根医師会」に

編集後記

移住・定住シリーズでご紹介したご家族も今回で7回目となりました。

毎回、訪問してお話をうかがう中で、共通しているのは(自然がすき・みなかみが好き・家族が大好き)で、とつても前向きにいらしている・ことです。地域にとけこみ、サークルや町の行事に積極的に参加し、生活を楽しんでいる様子を聞いていると、自然と心がなごみ、励まされる事も多々あります。

今回ご紹介の方は、とつても明るく前向きな方で、町の良い所や観光の町にふさわしい提案などをして頂き、いろんな視点から物を見る大切さを、あらためて感じていきます。

山田

議会だより編集特別委員会

委員長…中島 信義
副委員長…森 健治
委員…高橋久美子/石坂 武
山田 庄一/原澤 良輝

傍聴(席数は34席)

次回の定例会は

3月8日(火)~18日(金)
予定です。

場所: 役場本庁舎 6階議場

ぜひ一度、本会議を傍聴してみませんか。



— 移住・定住シリーズ⑦ —



この町の魅力を子どもたちに

「みなかみは「何もくない」谷川岳エコツーリズム自然ガイド 松原美成子みなこさん(上組区)

■旦那様は2000年からの住民で、以来ずっと新幹線通勤者。2002年の結婚をきっかけに移住され、二人の子どもさん達とエンジョイライフを送る、とても明るいアクティブなママをご紹介します。

— 移住後の職歴を教えてください？

子どもが生まれるまでは派遣会社の登録社員で町外に勤めていました。子どもが産まれてから暫く専業主婦でしたが、下の子が幼稚園に入園してから農園のお手伝い(こんにゃく、りんご、サクランボ)を始め、今はガイドの仕事(一ノ倉沢の電気バス、エコツアー、尾瀬)をしています。

— 移住して良かったことは？

「近所がいい人でお付き合いが温かいこと。大好きな自然が多いこと。町のいろいろな子育て支援も有難い。イベントやまつりごとが多く嬉しい。」

— 逆にお困りのことは？

子どもが少なく通学路の途中から一人で歩かなくてはいけないこと。熊や不審者が心配。

— 夢や抱負は？

地元の子どもたちに町のことを知ってもらおう手伝いをしたい。さらに子どもたちが来訪者に町のことをガイドでき、外国語でもガイドできるなど、「みなかみの子どもたちは凄い」と噂されるまでに進化したら良いと思います。

「この町には何も無い」のような悲観的な考え方よりも、「この町は凄い」と言える方が良い。当たり前にある価値あるものへの気づきを生み出していきたい。



— 提案されたいことは？

少子化をチャンスに変え、子どもが少ないからこそ出来ることを企画して欲しい。例えば、旧猿ヶ京小学校を利用した子どもたちへのスクーリングや塾に変わるものなど。それにより子どもたちの学力がグンと上がれば、なお素晴らしい。

— 町や議会に一言お願いします。

一ノ倉沢に外国語表記の看板をお願いします。一ノ倉沢で運行している電気バスが大変好評で、何度も足を運んでくださった方もいらつしました。

来年度も多くのお客様に楽しんで頂けるように、谷川岳、一ノ倉、そして清水峠などの整備をお願いします。

— 最後に読者の皆さんへメッセージをお願いします。

久しく谷川岳の一ノ倉沢の岸壁を見ていない方、是非！お子さん、お孫さん、お友達と一緒に遊びにいらしてください。1000mの岸壁を間近で見て「ヨッ！」と声を上げること間違いなし！地球のパワーを感じますよ。

みなかみ町のシンボル「谷川岳」近くてよい山なり！

? ふるさとクイズ

★ 正解者の中から抽選で5名様に粗品を進呈いたします。ぜひご応募ください。

問題

NHK大河ドラマで「真田丸」が始まりました。みなかみ町には、ゆかりの場所があります。何処でしょうか？

- ① 沼田城 ② 穴戸 錠 ③ 名胡桃城址

応募のきまり

ハガキに住所・氏名・答えとご意見ご感想を記入して、下記宛にご応募ください。

〒379-1393 群馬県利根郡みなかみ町後閑318
みなかみ町議会事務局 議会だより「ふるさとクイズ」係
締切：平成28年2月29日(当日消印有効)

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

前回の議会だより42号ふるさとクイズの正解は『Cの18人』でした。たくさんのご応募、ありがとうございました。